

国際スプリントオリエンテーリング地図図式
International Specification for Sprint Orienteering Maps
(ISSprOM 2019-2)

【日本語版】

2020年1月1日以降、本地図図式を「日本スプリントオリエンテーリング地図図式」として使用する。

本地図図式は、国際オリエンテーリング連盟(IOF)が2019年4月に発行した“International Specification for Sprint Orienteering Maps (ISSprOM2019)”を翻訳したものである。本規定の訳に疑義がある場合、英語版が優先する。

発行：(公社)日本オリエンテーリング協会 地図委員会

訳：中村 憲、中村 弘太郎

2019年9月3日 初版発行

2023年5月20日 ISSprOM2019-2 (2022/9/16改訂版) に基づき修正

目次

1	序論 / INTRODUCTION	1
1.1	用語 / Conventions	1
2	原則 / PRINCIPLES	2
2.1	地図の判読性	2
2.2	障害物 / Barriers - 黒線の太さは横断可否を示すのに使われる	2
2.3	最大 2 階層を表現し、うち 1 層は詳細に表現する	2
3	基本要素 / BASIC ELEMENTS.....	3
3.1	縮尺 / Scale	3
3.2	等高線間隔 / Contour interval	3
3.3	地図記号の寸法 / Dimensions of map symbols	3
3.4	地図用紙のサイズ / Format of the map	4
3.5	色のコンセプト / Colour Concept	4
4	記号の定義 / DEFINITION OF SYMBOLS	6
4.1	地形 / Landforms.....	6
4.2	岩と石 / Rock and boulders.....	9
4.3	水域と湿地 / Water and marsh	11
4.4	植生 / Vegetation	13
4.5	人工特徴物 / Man-made features.....	19
4.6	技術記号 / Technical symbols.....	26
4.7	コースプランニング記号 / COURSE PLANNING SYMBOLS.....	27
4.8	記号の精密な定義 / PRECISE DEFINITION OF SYMBOLS.....	29

IOF 国際スプリントオリエンテーリング地図図式

1 序論 / INTRODUCTION

スプリントオリエンテーリングのフォーマットは、IOF により以下のように定義されている：

スプリントオリエンテーリングは、高速で、目に見える、わかりやすいフォーマットであり、人口の多い地域でオリエンテーリングを行うことができる。スプリントの特徴は高速であることである。スプリントは、非常に走りやすい公園、街、あるいは林の中で非常に高速なランニングで構築される。

本地図図式の主な特徴：

- ISOM2017-2 に基づく。しかしながら、競技者および地図制作者はスプリント地図が特殊な地図であることを理解しなければならない。
- ISOM2017-2 における要求事項の多くがスプリント地図にも適用される。
- ISOM2017-2 と本地図図式の間で最も重要な違いは、太い黒の線が横断できない特徴物にのみ使用されることである。

スプリントオリエンテーリングは、フットオリエンテーリングの古くから確立された形式とは異なる。フットオリエンテーリングイベントは伝統的に主に森林で開催されてきたが、スプリントイベントはどんなタイプのトレインでも開催できる。特に公園や市街地のトレインを使用することは重要な利点がある。それは、ライプニッツ会議の目的に従って、人々がいる場所にこのスポーツをもたらし、オリエンテーリングに対する一般の人々やメディアの意識を高める機会を提供する。

公平性を実現するためには、地図制作者とコースプランナーが他の種目よりも密接に協力することが必要である。ウイニングタイムが短いため、走行速度が低下する程度・範囲を正確に地図に表記することは、スプリントオリエンテーリングにとって非常に重要である。

市街地では、階層構造のエリアが存在することは珍しいことではない。ISSprOM は単純なアンダーパスとオーバーパスの表現を可能にする。

1.1 用語 / Conventions

本地図図式では、以下のような表現を用いて要求事項を示している。

- 「しなければならない」「する」(英文: Must / Shall / Required)は、その規定が必ず従わなければならない要求事項であることを示す。
- 「してはならない」(英文: Must not / Shall not)は、その行為が完全に禁止されていることを示す。
- 「すべきである」「推奨する」(英文: Should / Recommended)とは、特別な事情により、特定の項目を無視することが妥当である場合が存在しうることを示す。しかし、規定外の選択をする前に、規定の意味を完全に理解した上で慎重な検討を行わなければならない。
- 「すべきではない」「推奨しない」「避けるべきである」(英文: Should not / Not recommended)とは、特別な事情により、その行為が容認可能である、あるいは有用であると考えるのが妥当である場合が存在しうることを意味する。しかし、この表現が付される行為を行う場合は、その規定の意味を完全に理解し、慎重に検討を行うべきである。
- 「してもよい」「することができる」(英文: May / Optional)とは、その行為が任意であることを示している。

2 原則 / PRINCIPLES

2.1 地図の判読性

地図の判読性は、選択された地図の縮尺と適切に選択された記号のセット、および総描の適用によって異なる。すべての地物が真の形状で表現できれば理想的な表現が実現される。明らかに、これは不可能であり、そして各地物を縮尺通りに描く努力は結果として地図を読むことを不可能にするだろう。選択された地図の縮尺に従って、いくつかの記号は地物を象徴し、大きさが誇張されなければならない。表現される地物の現地の限界をはるかに超えることがよくある。さらに、すべての地物がその地図の目的に不可欠というわけではない。

ナビゲーションにとって重要な地物は、走りやすさを示す、またはスプリントオリエンテーリングでは横断できないことを示すものであるが、第 4 章に記載されている。スプリントオリエンテーリング大会に参加する競技者にとって重要でない地物は、マッピングされるべきではない。こうした例としては、ゴミ箱、消火栓、パーキングメーター、個々の街路灯などである。

2.2 障害物 / Barriers – 黒線の太さは横断可否を示すのに使われる

障害物を通行不能とする場合の正確な高さを宣言することは不可能である。有効な横断可否は、身長や強度など、競技者の身体的特性に大きく左右される。

- 高い壁、高いフェンス、高い岩肌など横断不能の障害物は、ルートの選択に影響を与えるため、曖昧さを残さず表現されなければならない。よって、これらの地物は目立つ太い黒線で表されなければならない。
- フェンスや小さな岩肌など横断可能な障壁は、横断不能の障害物よりも十分に細い黒線で表現される。
- 段差や舗装区域の縁など非常に容易に横断可能な地物は、非常に細い黒線で表現される。

この原則により、ISOM 2017-2 の道路および徒歩道の記号を変更しないで使用することは不可能となる。スプリントオリエンテーリング地図の大きな縮尺により、道路や徒歩道を実際の形状で表現することができる。

立ち入りまたは横断が禁止されている区域または物体は、オリエンテーリングイベントの競技規則のセクション 17 に記載されている。国内規則も考慮に入れる必要がある。
(訳注:日本の競技規則(2023年度版)では通行禁止の特徴物については14節に記載されている)

2.3 最大 2 階層を表現し、うち 1 層は詳細に表現する

橋、天蓋、アンダーパス、地下建物などの重層構造は市街地では一般的である。複数階層の地図表現は非常に困難である。一つの階層のみを地図に表現するのが常に好ましいものの、最大 2 つの走行階層を表記する。階層を横断する通路(例:アンダーパス、照明付きトンネル、橋)のうち、競技者にとって重要なものに限って地図で表現すべきである。重層表現の困難な状況では、それを要項に表示することを推奨する。

詳細は別紙「IOF 地図図式-印刷と色定義」を参照すること

3 基本要素 / BASIC ELEMENTS

3.1 縮尺 / Scale

地図の縮尺は 1:4 000 でなければならない。IOF 競技規則は、IOF イベントにおける地図拡大の使用を規定する。地図が拡大される場合、すべての線、記号およびスクリーンは比例して拡大されなければならない。これはコースプランニング記号にも当てはまる。

視力が低下するため、細い線や小さな記号を読むのに不自由する可能性があるシニア層に対しては、すべてのフォーマットで拡大地図を使用することを推奨する。縮尺 1:3 000 への拡大は、複雑な地図を読む能力が十分に発達していない最も若い年齢層には常に推奨される。

3.2 等高線間隔 / Contour interval

等高線間隔の数値は通常 2m または 2.5m とする。しかし、急峻な地域のいくつかの特別な場合では 5m が許容される。等高線は地形の地図表現で最も重要な要素であり、起伏形状を幾何学的に決定する唯一の要素である。したがって、すべてのフットオリエンテーリング地図の図式を使用して、同じトレインに対して同様の「茶色さ」のマップを得るには、等高線間隔、等高線の線幅、および地図縮尺をバランスさせなければならない。ISSprOM の等高線間隔は、「茶色さ」に関する ISOM の等高線間隔と一致するように選択されている(線幅と縮尺を考慮に入れて)。

3.3 地図記号の寸法 / Dimensions of map symbols

これらの仕様の範囲内で、与えられた寸法からの逸脱は許されない。しかしながら、印刷技術における限界のために、最終的な地図記号の寸法は最大+/-5%まで変化してもよい。

本冊子の寸法は 1:4 000 の印刷縮尺で示される

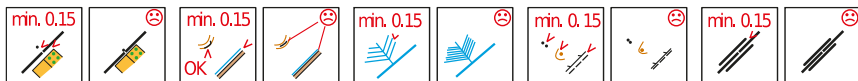
すべての線幅と記号寸法は厳密にその指定値に保たれなければならない。特定の最小寸法も遵守する必要がある。これらは印刷技術と判読性の必要性の両方に基づいている。

(訳注:編集の関係で和訳版の画像寸法は厳密に 1:4000 になっていない場合がある)

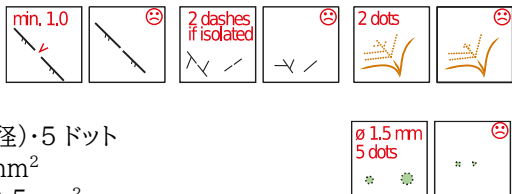
最小寸法 / Minimum dimensions

通行不能／横断不能の地物を表現する記号の間の通路は 0.4mm でなければならない。

- 同色の 2 本の線状記号の間隔:0.15mm
- 同色の線状記号と面状記号の間隔:0.15mm



- 最短の点線:2 ドット以上
- 最短の破線:2 ダッシュ以上
- フェンス、生垣、壁の開いている間隔: 1.0mm
- 最小の破線により囲まれる面:1.5mm(直径)・5 ドット
- 各色の最小面積
 青・緑・黄のベタ:0.5mm²
 黒のドットスクリーン:0.5mm²
 青・茶・緑・黄のドットスクリーン:1.0mm²

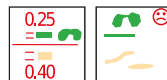


上記の寸法よりも小さいすべての地物は、それらが競技者にとって重要であるかどうかに応じて、誇張されるか省略されなければならない。地物が拡大される時、正しい相対位置が維持されるように隣接する地物は転位されなければならない。

面状地物に対する最小寸法 / Minimum dimensions for areas

形状が異なるため、面状地物に対して最小寸法を設定するのは困難である。最小幅は最小面積と同じくらい重要である。面の非常に薄い部分は誇張されなければならない。面状記号の最小幅(記号に定義されていない場合):

- 100%の緑:0.25mm (実寸 1m)
- 100%の黄:0.3mm (実寸 1.2m)
- スクリーンの色:0.4mm (実寸 1.6m)



スクリーン / Screens

植生、開けた土地、湿地などは、アミ点や線のハッチで示される。次頁の表は許可されたスクリーンの組合せを表している。

その他の記号は、組み合わせることはできない。

3.4 地図用紙のサイズ / Format of the map

地図用紙のサイズは、A3 を超えてはならない。

3.5 色のコンセプト / Colour Concept

「IOF 地図図式-印刷と色定義」が適用される。

		113 凹凸地	210 れき地	307 渡れない湿地	308 湿地	310 不明瞭な湿地	407 植生：速度低下・見通し良好	409 植生：走行困難・見通し良好	512.3 2つの階層で通行可能な区域
213 開けた砂地		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	use 403
214 露岩		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
301 渡れない水域		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
302 渡れる水域		✗		✗	✗	✗	✗	✗	
308 湿地				✗	✗	✗			only 512.2
310 不明瞭な湿地				✗	✗	✗			only 512.2
401 開けた土地				✗			✗	✗	
402 まばらに木の生えた開けた土地				✗			✗	✗	use 401
403 開けた荒地									
404 まばらに木の生えた開けた荒地									use 403
405 林									only 512.2
406 植生：速度低下							✗	✗	
408 植生：走行困難							✗	✗	
410 植生：通行困難							✗	✗	
411 通行不能な植生		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
501 舗装区域		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
501.3 まばらに木の生えた舗装区域		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	use 501
520 立入禁止区域		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
521 建物		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	only 512.2
522 天蓋(キャノピー)		✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	

4 記号の定義 / DEFINITION OF SYMBOLS

以下のセクションでは、地図に記載される地物の定義と地図記号の仕様について説明する。記号は7つのカテゴリに分類される。

地形	(茶)
岩と石	(黒+グレー)
水部と湿地	(青)
植生	(緑)
人工特徴物	(黒)
技術記号	(黒+青)
コースプランニング記号	(パープル)

注: 寸法は縮尺 1:4000 における mm で示す。
すべての図はわかりやすくするため、2 倍の縮尺として
いる。

< 2本の線の間の隙間・埋め
- 線の幅
- 距離
⊘ 直径
↑ 北向きに正置される記号

(OM) = 外側の寸法
(IM) = 内側の寸法
(CC) = 中心から中心

本地図図式における大部分の記号は、北に向けて正置されるものとする。記号が北に向けて正置されることは、記号の横にある上向きの矢印で示される。記号が北に向けて正置されなければならない場合、それは磁北に対して、したがって紙の端と磁北線を基準にして向けられることを意味する。

面状記号の場合、色の濃度はテキスト(「緑 50%」)とイラスト(「50%」)で示される。いくつかの記号の詳細な図形の定義は 4.8 記号の正確な定義で示される。

4.1 地形 / Landforms

101 等高線(主曲線) Contour (線)

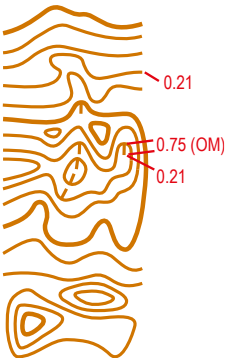
同じ標高を連続的につないだ曲線。標準的な等高線の鉛直間隔は 2m または 2.5m である。等高線イメージの 3 次元効果を強調するために、等高線は、建物(521)と天蓋(キャノピー)(522)を含むすべての記号を通る連続的な線として表現されなければならない。

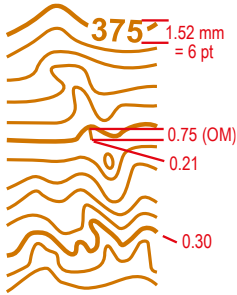
傾斜の向きを明瞭にするために、等高線の低い側に向けて傾斜線を描いてもよい。使用する場合、傾斜線は沢線の上に配置しなければならない。

ただし、等高線は、より判読性を高めるために、次の記号に接する場合は切らなければならない。土塁(105)、小さなこぶ(109)、小さく細長いこぶ(110)、小凹地(111)、穴(112)、目立つ地形の特徴物(115)、階段(532)。等高線は、小さなこぶ(109)と小さな細長いこぶ(110)と接しないように調整するか、それが不可能な場合は等高線を切断する。

隣接する特徴物間の相対的な高さの違いは、地図上でできるだけ正確に表す必要がある。絶対的な高さの精度はさほど重要ではない。地形をより良く表現することができるのであれば、等高線の標高をわずかにずらすことも許容される。この等高線の逸脱は、等高線間隔の 25% を超えてはならず、隣接する特徴物との関係に十分な注意を払わなければならない。等高線の最小の曲がり、線の中心から中心まで 0.4mm とする。

色: 茶



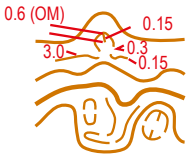


102 計曲線 Index contour (線, 文字)

等高線は 5 本毎に太い線で表さなければならない。これは地形の高低差や全体的な形状をすばやく判読することを容易にするためである。計曲線が非常に複雑な地形にかかるような場合、部分的に記号等高線(主曲線)(101)で表してもよい。

大きな高低差の判断を助けるために、標高値を表示してもよい。等高線の高度が高いほうに数字の上が向くように、数字を配置しなければならない。標高値は、他の地図情報の判読性を妨げない位置の計曲線に対して配置される。

色:茶



103 補助曲線 Form line (線)

主曲線と主曲線の間の等高線。補助曲線は、地形についてより多くの情報を与えることができる場合に用いられる。補助曲線は通常の等高線で表現が不可能な場合にのみ使用される。隣接する等高線の間で使用できる補助曲線は 1 本だけである。

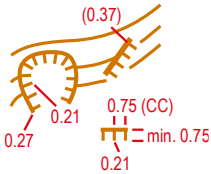
色:茶



104 土がけ Earth bank (線)

急な土がけは、周囲の地形から明瞭に見分けることができる地表の傾斜が急になる部分である。例えば、土砂の採取場、道路や鉄道の切り通しや土盛り。短線は斜面の範囲全体を示さなければならないが、2つの土がけが近接している場合は省略してもよい。通行不能の土がけは、記号通行不能のがけ(201)で表記しなければならない。非常に高い土がけの線幅は、0.37mmを用いてもよい。

色:茶



105 小さな土塁 Small earth wall (線)

通常は人工の、小さなはっきりした土塁。大きな土塁は、等高線(101)、補助曲線(103)、または土がけ(104)の記号で表さなければならない。

最小高さ:0.5m

最小長さ:1.4mm (実寸 5.6m)

色:茶



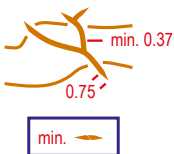
107 きれつ・トレンチ Erosion gully or trench (線)

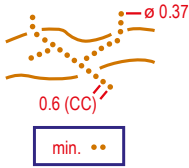
記号土がけ(104)、等高線(101)、計曲線(102)または補助曲線(103)で表すには小さすぎるきれつまたはトレンチは、1本の線で表される。線の端はとがっている。読みやすくするために、この記号の周りで等高線を切ってもよい。

最小深さ:1m

最小長さ:2.0 mm (実寸 8 m)

色:茶





108 小さなきれつ Small erosion gully (線)

小さなきれつまたは堀。この記号の周りでは等高線は切らなければならない。

最小深さ:0.5m

最小長さ(単独):2ドット(1mm - 実寸 4m)

色:茶

109 小さなこぶ Small knoll (点)

等高線(101)、計曲線(102)または補助曲線(103)で縮尺どおりに表記できない小さなはっきりした盛り土または岩のこぶ。この記号は等高線に接したり重なったりしてはならない。

最小の高さ:0.5m

実寸:直径 3m

色:茶



110 小さな長細いこぶ Small elongated knoll (点)

等高線(101)、計曲線(102)または補助曲線(103)で縮尺どおりに表記できない小さなはっきりした細長いこぶ。最大長は 6m、最大幅は 2m とする。これより大きいこぶは等高線で表示しなければならない。この記号は自由な形で描かれてはならず、この記号は接したり重なったりしてはならない。この記号は等高線に接したり重なったりしてはならない。

最小の高さ:0.5m

実寸:4.8m×2.4m

色:茶



111 小凹地 Small depression (点)

記号等高線(101)または補助曲線(103)で表すことができない小さな浅い自然のくぼみは、半円で表される。

この記号は他の茶色の記号に接したり重なったりしてはならない。この記号は北向きに正置される。

最小深さ:0.5m

最小幅:1m

実寸:4.8m×2.4m

色:茶



112 穴 Pit or hole (点)

記号土がけ(104)で縮尺どおりに表記できない、急峻な側面を持つ穴や窪み。この記号は北向きに正置される。

最小深さ:0.5m

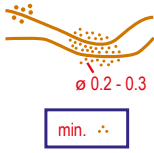
最小幅:1m

実寸:4.4 m×5.0m

色:茶



113 凹凸地 Broken ground (面)



複雑すぎて詳細に表現できない複数の穴やこぶが多数ある領域。ランダムに配置されたドットの密度は、地面の細かさに応じて変えてよい。ドットは、重要な地形や特徴物の表現を妨げてはならない。凹凸地では等高線を切ってはならない。ドットは単一の点線を形成するように配置してはならない。
色:茶

115 目立つ地形の特徴物 Prominent landform feature (点)



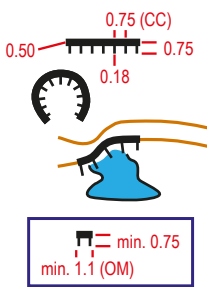
重要または目立つ小さな地形の特徴物。この記号は北向きに正置される。この記号は等高線や他の茶色の記号に接したり重なったりしてはならない。記号の定義は地図上に示されなければならない。

実寸:5.4m×4.6m

色:茶

4.2 岩と石 / Rock and boulders

201 通行不能ながけ Uncrossable cliff (線)



通行不能ながけ、採石場、または土がけ(記号土がけ(104)を参照)。

短線は下方向に描かれ、一番上の線から根元までの範囲を示す。垂直の岩壁で描くスペースがない場合は短線を省略できる。例えば、がけの間の狭い通路(通路は少なくとも0.4mmの幅で描かれなければならない)。短線は、がけの直下の詳細を表す面状記号の上にかかってもよい。岩の表面が直接水域に落ち込み、水域の縁に沿ってがけの下を通過することができない場合、水域の輪郭線が省略されるか、水域の輪郭に対して明瞭に横切って短線が表記されなければならない。通行不能ながけは等高線とつなげて表記されなければならない。

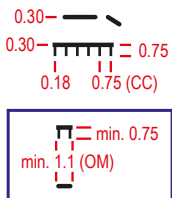
最小の高さ:1.5m

最小長:1.1mm (実寸4.4m)。

色:黒

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)

202 通行可能な岩がけ Passable rock face (線)



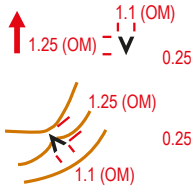
通行可能ながけや採石場。

小さな垂直の岩壁は短線なしで表示されてもよい。岩壁の落ち込む向きが等高線から読み取りにくい場合、または判読性を高めたい場合は、短線を落ち込む方向に表記すべきである。垂直でないがけの場合、短線は水平方向の範囲全体を示すように表記されなければならない。短線なしで示されている通行可能な岩がけは、判読性を高めるために線の端は丸められなければならない。

最小の高さ:0.6m

最小長:1.1mm (実寸4.4m)。

色:黒



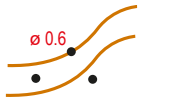
203 岩穴・横穴 Rocky pit or cave (点)

岩穴、窪み、横穴または坑道で、競技者に危険となる可能性のあるもの。位置は記号の重心である。明瞭な入口を持つ横穴は、記号は横穴の開口部の方向を向けて表記する。それ以外は北を向けて正置しなければならない。

最小深さ:0.5m

実寸:4.4m×5.0m

色:黒



204 岩 Boulder (点)

小さなはっきりした岩。

地図上に表示されたすべての岩は、現地ですべての岩は、現地で即座に識別可能でなければならない。

実寸:直径 2.4m

色:黒

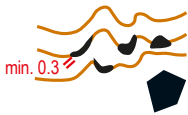


205 大きな岩 Large boulder (点)

特に大きくはっきりした岩。

実寸:直径 3.6m

色:黒



206 巨大な岩・ロックピラー Gigantic boulder or rock pillar (面)

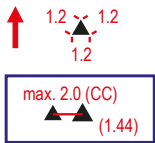
巨大な岩、ロックピラー(岩柱)または巨大ながけは、平面形状で表現されなければならない。記号は形状や幅を変えてよい。

巨大な岩の間、または巨大な岩と他の通行不能な特徴物の間の隙間は、地図上で 0.15mm 以上でなければならない。

最小幅:0.3mm

最小面積:0.75mm² (実寸 12m²)

色:黒

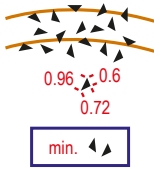


207 岩石群 Boulder cluster (点)

非常に密集したはっきりとした岩の集まりで、個々に記載することができないもの。岩石群内の岩は 0.5m 以上でなければならない。岩石群は、岩のひとつの集合として容易に特定可能でなければならない。岩の大きさに顕著な差がある隣接する(最大 8m 離れた)岩石群の区別を示すために、岩石群に対してこの記号を 20%(辺の長さ 1.44mm)拡大することが許される。この記号は北向きに正置される。

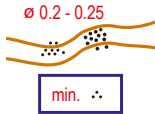
実寸:4.8m×4.0m

色:黒

208 岩石地 Boulder field (面)

個々に表記することができないほど多くの点在する石で覆われている領域は、ランダムな配置でランダムな向きの三角形で表現される。走行度は低下し、三角形の密度によって示される。最低2つの三角形を使用しなければならない。岩石地内で明らかな高さの違いを示すことができるようにするために、三角形のいくつかを120%に拡大することが許される。

色:黒

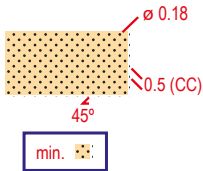
210 れき地 Stony ground (面)

走りやすさを低下させる石や岩の多い土地。

点は岩の量に応じて密度をランダムに分布させなければならないが、重要な地形や特徴物の表現を妨げてはならない。最低3ドットを使用しなければならない。明確な植生界(416)との混同を避けるために、ドットは線状に配置されてはならない。

密度:最小3ドット

色:黒

213 開けた砂地 Open sandy ground (面)

走りやすさを低下させる植生のない砂地や柔らかい砂利の領域。砂地領域が開けていて走行度が良い場合は、記号開けた土地(401)、まばらに木の生えた開けた土地(402)、また舗装区域(501)で表現される。黒い点は他の黒い記号と干渉してはならない。

最小幅:0.3mm

最小面積:1mm² (実寸 16mm²)

色:黄 50%、黒

214 露岩 Bare rock (面)

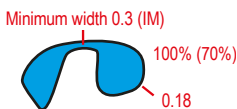
表土も植生もない、走行可能な岩が露出した領域。

草、苔または他の低い植生で覆われた露岩の領域は、その植生と走りやすさに従った記号(401/402/403/404)で表現されなければならない。

最小幅:0.25mm

最小面積:1mm² (実寸 16mm²)

色:黒 30%

4.3 水域と湿地 / Water and marsh**301 通行不能の水域 Uncrossable body of water (面)**

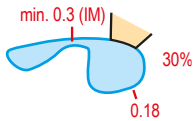
湖、池、川、噴水などの水深の深い水域。濃い青と黒の輪郭線は、その特徴物が横断できないことを示す。

最小幅:0.3mm

最小面積(内側):0.5mm²(実寸 8mm²)

色:黒(輪郭線)、青 100%または 70%(面積が広い場合)

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)



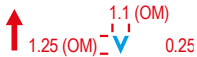
302 渡れる水域 Crossable body of water (面)

渡ることができる池、川または噴水のような浅い水域。水域は深さ 0.5m 以下かつ走行可能でなければならない。水域が走行可能でない場合は、記号 **渡れない水域(301)** で表現される。他の線状記号が渡れる水域の境界に接しない場合、輪郭は青い線で表現される。

最小幅: 0.3mm

最小面積(内側): 0.5mm²(実寸 8m²)

色: 青(輪郭)、青 30%



303 小さな池 Waterhole (点)

縮尺どおりに表記するには小さすぎる、水で満たされた穴または水域。位置は記号の重心であり、記号は北を向きに正置される。

実寸: 4.4m×5.0m

色: 青

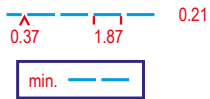


305 渡れる小さな水路 Small crossable watercourse (線)

幅 2m 未満の横断可能な水路。

最小長さ: 1mm (実寸 4 m)

色: 青

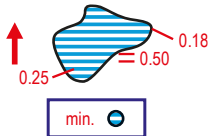


306 細いもしくは季節的な水路 Minor / seasonal watercourse (線)

途切れ途切れにしか水の存在しない自然または人工の細い水路。

最小長(単独): 2 ダッシュ (4.11mm - 実寸 16.5m)

色: 青



307 通行不能の湿地 Uncrossable marsh (面)

渡れない、または競技者にとって危険な湿地。この特徴物は横断してはならない。少なくとも 2 本の青い線がはっきり表示されなければならない。この記号は北向きに正置される。

最小幅: 2 本の線

色: 黒(輪郭)、青

(訳注: 本記号は競技規則により通行が禁止されている)

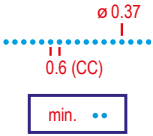


308 湿地 Marsh (面)

渡れる湿地で、通常ははっきりとした縁がある。走行度と植生を示すために、この記号を植生記号と組み合わせなければならない。少なくとも 2 本の青い線がはっきり表示されなければならない。この記号は北向きに正置される。

最小幅: 2 本の線

色: 青

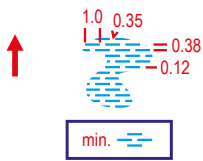


309 細い湿地 Narrow marsh (線)

記号**湿地**(310)で表示するには狭すぎる湿地または水の細流。

最小長さ(単独):2ドット(1mm - 実寸 4 m)

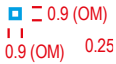
色:青



310 不明瞭な湿地 Indistinct marsh (面)

不明瞭または季節的な湿地、または湿地から堅固な地面へと段階的に移行する領域で、横断可能なもの。縁は一般的に不明瞭であり、植生は周囲の地面の植生と似ている。走行度と植生を示すために、この記号を植生記号と組み合わせなければならない。少なくとも 3 本の青い線がはっきり表示されなければならない。この記号は北向きに正置される。

色:青



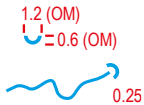
311 小さい噴水・井戸 Small fountain or well (点)

直径 1m 以上の小さな噴水または井戸。

最小の高さ:0.5m

実寸:3.6m×3.6m

色:青

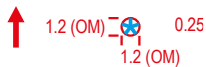


312 湧水点 Spring (点)

はっきりした流れを伴う、水が湧き出ている場所。この記号は水が流れ出している方向に開口部を向ける。

実寸:4.8m×2.4m

色:青



313 目立つ水系の特徴物 Prominent water feature (点)

重要または目立つ小さな水系の特徴物。この記号は北向きに正置される。

記号の定義は地図上で示されなければならない。

実寸:直径 4.8m

色:青

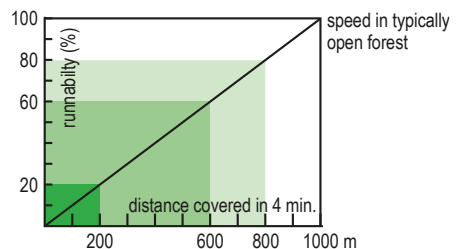
4.4 植生 / Vegetation

走行度と見通しに影響を与え、地図を読むための機能も提供するため、植生の表現は競技者にとって重要である。

色と走行度

基本原則は次のとおりである。

- ・ 白は、典型的な走りやすい林を表す。
- ・ 黄は、開けた土地を表し、いくつかに分類される。
- ・ 緑は、その走行度に応じて森林の密生度合いと下生えを表し、いくつかに分類される。



走行度は植生の性質(樹木/低木やシダ、イバラ、イラクサなど下草の密度)によって決まるが、走行度は別の記号により示される湿地、岩石地などによっても影響を受ける。

401 開けた土地 Open land (面)



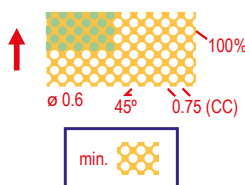
非常に優れた走行度の、木のない耕作地、芝生、野原、牧草地、草原、樹皮の敷き詰めなどの領域。

最小幅:0.3mm

最小面積:0.5mm²(実寸 8m²)

色:黄色

402 まばらに木の生えた開けた土地 Open land with scattered trees (面)



非常に良好な走行度の、まばらに木や藪が生えた牧草地で、芝生や類似の地表面の領域。ドットは白(まばらな木)または緑(まばらな低木や茂み)で表示される。記号 目立つ大きな木(417)と 目立つ藪または小さな木(418)を追加することができる。この記号は北向きに正置される。

訳注:緑のドットは、旧 JSOM で立入禁止区域であった果樹園と酷似しているため、注意して使用すること。

最小幅:2.2mm

最小面積:6.25mm²(実寸 100m²)

最小寸法より小さな領域は、除外されるか、誇張されるか、または記号開けた土地 (401)を使用して表示されなければならない。

色:白または緑 60%の穴の空いた黄

403 開けた荒地 Rough open land (面)

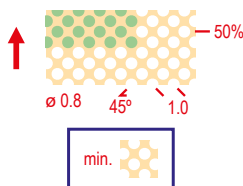


ヒースやムーアの領域、倒木地帯、新たに植栽された領域(約 1m 未満の木)、またはその他の総じて荒れた植生(ヒースまたは背の高い草など)のある開けた土地。この記号は記号 植生:走行可能・見通し良好(407)と 植生:走行困難・見通し良好(409)を組み合わせ、走行度の低下を示すことができる。

最小面積:1mm²(実寸 16m²)

色:黄 50%

404 まばらに木の生えた開けた荒地 Rough open land with scattered trees (面)



まばらに木や藪が生えた開けた荒地。ドットは白(まばらな木)または緑(まばらな低木や茂み)で表示される。記号 目立つ大きな木(417)と 目立つ藪または小さな木(418)を追加することができる。白いドットの場合のみ、記号 植生:走行可能・見通し良好(407)または 植生:走行困難・見通し良好(409)と組み合わせることができる。

最小幅:2.5mm

最小面積:6.25mm²(実寸 100m²)

最小寸法より小さな領域は、除外されるか、誇張されるか、または記号開けた荒地(403)または 林(405)のいずれかを使用して表示されなければならない。

色:白または緑 60%の穴の空いた黄 50%。

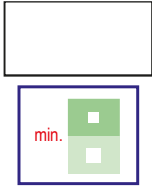
405 林 Forest (面)

当該テレインにおける典型的な走りやすい林。もしどの部分も容易に走れる林がなければ、地図上に白の部分は存在しない。

最小幅(開口部):0.3mm

最小面積:他の色のスクリーンの開口部の場合は 1mm^2 (実寸 16m^2)。ただし、**植生:走行困難(408)**および**開けた土地(401)**の場合は 0.5mm^2 (実寸 8m^2)

色:白



406 植生:速度低下 Vegetation: slow running (面)

密集した植生(低い見通し)がある領域で、走行速度は通常速度の約 60-80%に低下する。

一方向の走行度が比較的良好な場合は、より走りやすい方向を示すために白い縞の規則的なパターンで表記される。少なくとも 2 本の白い縞がはっきり表示されなければならない。

最小幅:0.4mm

最小面積: 1mm^2 (実寸 16m^2)

色:緑 30%

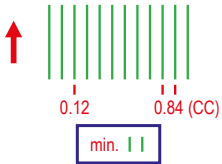


407 植生:速度低下・見通し良好 Vegetation: slow running, good visibility (面)

下草(イバラ、ヒース、低い藪、落枝など)により、見通しが良好で走行度が低下する領域。走行速度は通常速度の約 60~80%に低下する。この記号は、記号の**植生:速度低下(406)**または**植生:走行困難(408)**と組み合わせてはならない。

最小幅:2 本

色:緑



408 植生:走行困難 Vegetation: walk (面)

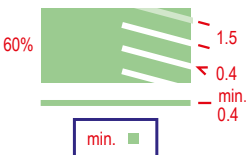
密集した木や茂み(視界が悪い)がある場領域で、走行速度は通常速度の約 20~60%に低下する。

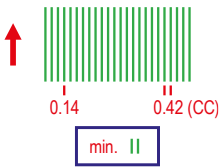
一方向の走行度が比較的良好な場合は、より走りやすい方向を示すために白/緑 30%縞の規則的なパターンで表記される。少なくとも 2 本の縞がはっきり表示されなければならない。

最小幅:0.4mm

最小面積: 0.5mm^2 (実寸 8m^2)

色:緑 60%。





409 植生: 走行困難・見通し良好 Vegetation: walk, good visibility (面)

下草(イバラ、ヒース、低い藪、落枝など)により、見通しが良好で走行度が低下する領域。走行速度は通常速度の約 20~60%に低下する。この記号は、記号 植生:速度低下(406)または 植生:走行困難(408)と組み合わせることはできない。

最小幅:2本

色:緑

410 植生:通行困難 Vegetation: fight (面)

通行困難な密集した植生(木または下草)の領域。走行速度はほぼ 0%。一方向の走行度が比較的良好な場合は、より走りやすい方向を示すために白/緑 30%/緑 60%縞の規則的なパターンで表記される。少なくとも 2本の縞がはっきり表示されなければならない。



最小面積:0.3mm²(実寸 5m²)

最小幅:0.25mm

色:緑 100%

411 通行不能の植生 Uncrossable vegetation (面)

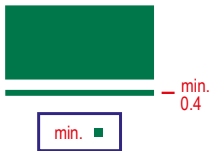
通行不能の植生は、私有地や植生自体を傷つけるおそれがあるため、横断または通過してはならない植生(生垣など)である。

最小面積:0.33mm²(実寸 5m²)

最小幅:0.4mm

色:濃緑

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)



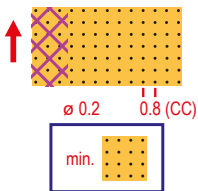
412 耕作地 Cultivated land (面)

通常は作物の栽培に使用される耕作地。走行度は栽培される作物の生育度合いや季節によって異なる。走行度が変わりうるような領域はコースを設定する場合には避けなければならない。この記号と記号 立入禁止区域(709)を組み合わせ、立ち入ってはならない耕作地を示す。この記号は北向きに正置される。

最小幅:3mm

最小面積:9mm²(144m²)

色:黄、黒



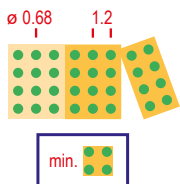
413 果樹園 Orchard (面)

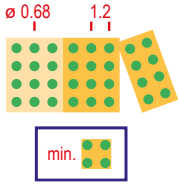
通常は規則的に果樹または低木が植えられた土地。ドットは、植栽の方向を示してもよい。少なくとも 4つの点があきらかに表示されなければならない。記号 開けた土地(401)または 開けた荒地(403)のいずれかと組み合わせなければならない。

最小幅:2mm

最小面積:4mm²(64m²)

色:緑、黄または黄 50%。





414 ブドウ園またはそれに類似するもの Vineyard or similar (面)

植栽の方向に走行度が良好または通常の、植物の密な列のあるブドウ畑または同類の耕作地。線はその植栽の方向を示さなければならない。少なくとも 3 本の線がはっきり表示されなければならない。記号 *開けた土地(401)* または *開けた荒地(403)* のいずれかと組み合わせなければならない。

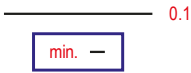
最小幅: 2mm

最小面積: $4\text{mm}^2(64\text{m}^2)$

色: 緑、黄または黄 50%

訳注: 記号 **412-414** は、旧 **JSSOM** で立入禁止区域とされていたため、混同によるトラブルを防止する観点から、日本国内では原則として **709(立入禁止区域)** を重ねて表記する。立入可能な耕作地・果樹園などは記号 **401-404** を用いて表記する。

415 明確な耕作地の境界 Distinct cultivation boundary (線)

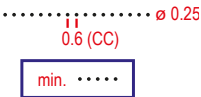


記号耕作地植生 (*401, 412, 413, 414*) の境界、または他の記号(フェンス、壁、道など)と共に表示されていない場合の異なるタイプの耕作地間の恒久的な境界。

最小長さ: 1mm(実寸 4 m)

色: 黒

416 明確な植生界 Distinct vegetation boundary (線)



明確な林の縁または林の中の非常に明確な植生の境界。不明瞭な境界の場合、領域の縁は色やスクリーンの変化によってのみ表示される。

最小長(単独): 5ドット(2.65 mm - 実寸 10.6 m)

色: 黒。

417 目立つ大きな木 Prominent large tree (点)



目立つ大きな一本の木。

黄と緑の読みやすさを向上させるために、緑色の円の下に白いマスクが使用される(OM 1.4mm)。

実寸: 直径 4.8m(OM 5.6 m)

色: 緑、白

418 目立つ茂みまたは小さな木 Prominent bush or small tree (点)



目立つ茂みや小さな一本の木。

内側の小さな白い点は、色覚障害者の助けとして使用される。

実寸: 直径 3.2m

色: 緑

419 目立つ植生の特徴物 Prominent vegetation feature (点)



重要または目立つ植生の特徴物。

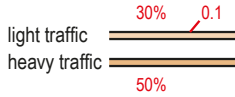
白のマスクが、黄と緑の中での読みやすさを向上させるために緑の十字の下に使用される(白のマスクの線幅は 0.50mm、記号の端では 0.25mm 長くなる)。

この記号は北向きに正置される。

この記号の定義は地図上で与えられなければならない。
実寸:4.8m×4.8m(OM 7.1m×7.1m)
色:緑、白

4.5 人工特徴物 / Man-made features

501 舗装区域 Paved area (面)

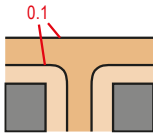


舗装領域は、アスファルト、堅い砂利、タイル、コンクリートなどの堅い地面の領域である。この記号は記号段差または舗装区域の縁(501.1)によって境界を示され(または囲まれ)なければならない。舗装区域内の明瞭な違いは、ナビゲーションに役立つ場合は、記号段差または舗装区域の端(501.1)で表現することができる。黒い境界線は、それが理にかなう場合には省略することができる(例えば、不明瞭/段階的な砂利から草への移行)。

茶色の濃さの違いは、車両または歩行者の交通の違いを示すために使用される。

色: 茶 30%(車または歩行者の交通量が少ない場合)または茶 50%(車や歩行者の交通量が多い場合)、黒。

501.1 段差または舗装区域の縁 Step or edge of paved area (線)

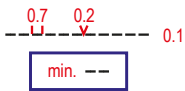


舗装された区域の縁。

舗装区域内の縁は、ナビゲーションの役に立つ場合を除き、通常は表示されない。

色: 黒

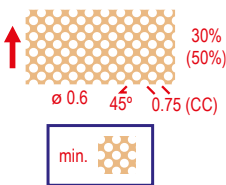
501.2 下層の舗装区域の段差または縁 Step or edge of paved area at lower level (線)



この記号は、広い重層構造の区域で方向決定に必要な場合のみ使用する。線の両端は0.15mmの間隔を開けること。

色: 黒

501.3 まばらに木の生えた舗装区域 Paved area with scattered trees (面)



木々や茂みが散在する舗装された場所。

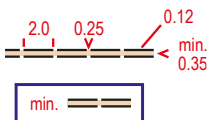
最小幅: 2.2mm

最小面積: 6.25mm²(実寸 100m²)

より狭い地域は、除外されるか、誇張されるか、または記号舗装区域(501)を使用して表示される必要がある。

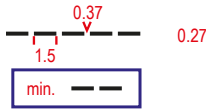
色: 白の穴の空いた茶 30%(50%)

505 未舗装の歩道または踏み跡 Unpaved footpath or track (線)



未舗装の歩道または荒れた車両の踏み跡は、滑らかで堅い面ではなく、主に徒歩で通行するための通路である。色は記号舗装区域(501)と同じでなければならない。

色: 黒、茶 30%

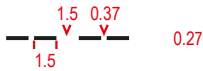


506 小さな未舗装の徒歩道または踏み跡 Small unpaved footpath or track (線)

小さな未舗装の徒歩道または踏み跡。

最小長(単独):2つのダッシュ(3.4mm - 実寸 13.6m)。

色:黒

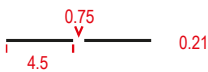


507 不明瞭な小径 Less distinct small path (線)

あまり明瞭ではない小径または林業作業の跡。

最小長:2つのダッシュの2つ分(7.9mm - 実寸 31.6m)

色:黒

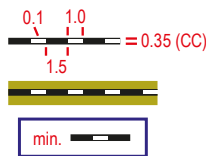


508 切り開き Narrow ride (線)

明瞭な切り開きは、林(通常は植林)の中で線状に切り開かれたものであり、明瞭な踏み跡を伴わない。切り開きに沿った踏み跡がある場合は、記号小さな未舗装の歩道または小道(506)の記号を使用しなければならない。

最小長:2つのダッシュ(9.75mm - 実寸 39 m)

色:黒

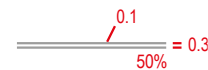


509.1 鉄道 Railway (線)

鉄道は、機関車、客車または貨車が走行できるレールが敷設された恒久的な線路である。横断すること、または鉄道に沿って走ることが禁止されている場合、鉄道の周りの立入禁止区域は、記号立入禁止区域(520)で表現されなければならない。

最小長(単独):2つのダッシュ(4mm - 実寸 16 m)。

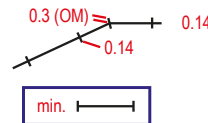
色:黒、白



509.2 路面軌道 Tramway (線)

路面軌道は、通常はレールを伴う、車道に沿って定期的に運行する公共車両の軌道である。この軌道は競技者が容易に横断できる。路面軌道は一般的には表現されないが、それらがナビゲーションや方向付けに役立つならば、表現してもよい。

色:黒 50%



510 送電線・ケーブルまたはスキリフト Power line, cableway or skilift (線)

送電線、索道またはスキリフト。

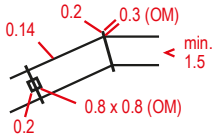
横棒は支柱の正確な位置を示す。送電線、索道、またはスキリフトの一部が道路や道に沿っている場合(そしてナビゲーションに重要な情報を付加しない場合は)、それを省略すべきである。

色:黒

511 送電線幹線 Major power line (線)

主要な送電線は二条線で表記されなければならない。線の間隔は送電線の広さを示してもよい。非常に大きな支柱は、記号**建物(521)**または**高い塔(524)**を使用して平面形状を表現されなければならない。この場合、送電線は省略することができる(地図には支柱のみが表示される)。

色:黒

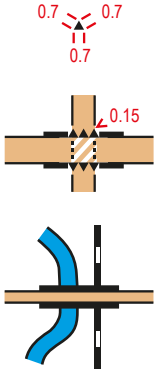


512.1 橋またはトンネルの入口 Bridge or tunnel entrance(線)

橋とは川、谷、道路などの上に架り通行を可能にする構造物である。下を通ることができる単純な橋はこの記号で表記する。三角形の頂点と隣接する黒色の記号は 0.15mm の隙間が必要である。鋭角の描画には特に注意をしなければならない。

下を通ることができない単純な形状の橋は記号**通行不能の壁(515)**で表記する。

最小: 周囲が複雑な場合は三角形1つ(避けるべき)。独立している場合は三角形2つ。色:黒



(訳注:本記号は競技規則により上層と下層をまたぐ横断が禁止されている)

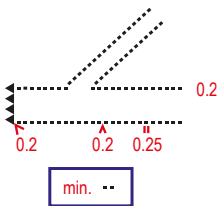
512.2 アンダーパスまたはトンネル Underpass or tunnel (線)

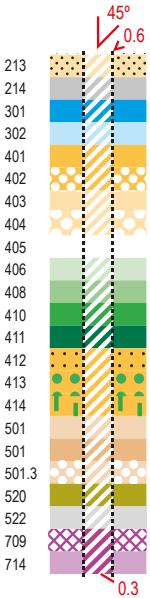
アンダーパスやトンネルは、地下や建物の下を通る通路で、特に歩行者や車向けの通路である。線の始点と終点は地図上で 0.2mm の隙間を開けなければならない。この線は下層の範囲を決める他の障害物の線が無い場合のみ使用する。

非常に短いアンダーパスやトンネルで最小長さの線を引く十分なスペースがない場合で、その区域が記号**2つの階層で通行可能な区域(512.3)**によっても区切られていれば、線を省略することができる。

最小長さ:2 ダッシュ (1.1mm・実寸 4.4m)

色:黒





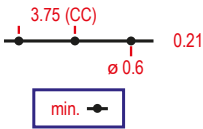
512.3 2つの階層を通過可能な区域 Area passable at two levels (面)

2つの階層を通過できる重層構造の上部(記号渡れない水域(301)と立入禁止区域(520)を除く)。パターンの角度は描画する領域の軸方向に対して約45°とする。

ストライプの領域で組み合わせ可能な記号は、開けた砂地(213)(ストライプの領域を開けた荒地(403)に置き換える)、露岩(214)、渡れない水域(301)、渡れる水域(302)、開けた土地(401)、まばらに木の生えた開けた土地(402)(ストライプの領域を開けた土地(401)に置き換える)、開けた荒地(403)、まばらに木の生えた開けた荒地(404)(ストライプの領域を開けた荒地(403)に置き換える)、植生:速度低下(406)、植生:走行困難(408)、植生:通行困難(410)、通過不能な植生(411)、耕作地(412)(ストライプの領域を開けた土地(401)に置き換える)、果樹園(413)およびブドウ園またはそれに類するもの(414)(ストライプの領域を開けた土地(401)もしくは開けた荒地(403)に置き換える)、舗装区域(501)、まばらに木の生えた舗装区域(501.3)(ストライプの領域を舗装区域(501)に置き換える)、立入禁止区域(520)、天蓋(522)、立入禁止区域(709)(ストライプの領域を upper purple 100%に置き換える)、特設の構造物もしくは閉鎖区域(714)(ストライプの領域を upper purple 100%に置き換える)である。

513.1 通過可能な壁 Passable wall (線)

通行可能な壁は、通行可能な石、レンガ、コンクリートなどでできた構造物である。そのような壁が 1.5m より高い場合、それは記号通行不能の壁(515)で表現されなければならない。広い壁は、通行可能な壁の記号により輪郭を示された地面の記号を使用して、平面形状で描画されなければならない。可能であればドットを表示すべきである(ドットの両側の最小の長さは各辺 0.4mm)



最小の長さ(単独): 1.4mm (実寸 5.6mm)

色: 黒

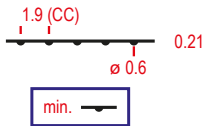
513.2 通過可能な擁壁 Passable retained wall (線)

片側からしか見えない通行可能な壁。半円のドットは低い側に向けられなければならない。

高さは 0.6 - 1.5m。これより低い場合は、記号段差または舗装区域の端(501.1)を使用する。

最小長(単独): 2.4mm (実寸 9.6 mm)。

色: 黒



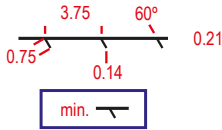


515 通行不能の壁 Uncrossable wall (線)

通行不能または横断不能の壁または擁壁は、囲いまたは堅固な障壁の機能を果たす壁である。その高さにより競技者に危険を及ぼす、あるいは私有財産や壁そのものに損害を与えるおそれがあるため、この特徴物は横断してはならない。非常に広い通行不能の壁は、平面形状で描かれなければならない。記号 *建物(521)* を用いて表現されなければならない。

色:黒

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)



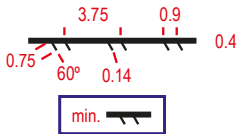
516 通過可能な柵または手すり Passable fence or railing (線)

通行可能な柵は、野原や庭などを囲むまたは縁どる障壁であり、通常は支柱と針金または木でできている。進入を防ぐため、または境界を規制または示すために使用される。手すりは、広く間隔をあけられた直立したポールによって支えられる1つ以上の水平なレールから成っている柵のような障壁であり、通常すり抜けることができる。

柵または手すりが危険であるか、または横断するのが非常に困難な場合、それは記号 *通行不能の柵または手すり(518)* で表現されなければならない。

最小長(単独):2.2mm (実寸 8.8m)

色:黒



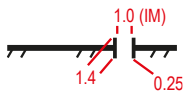
518 通行不能の柵または手すり Uncrossable fence or railing (線)

通行不可能な柵や手すりは、その高さにより競技者に危険を及ぼす、あるいは私有財産や柵そのものに損害を与えるおそれがあるため、横断してはならない。最小長さが3mmより短い場合は、記号 *通過不能の壁(515)* で表現されなければならない。

最小長(単独):3mm (実寸 12 m)

色:黒

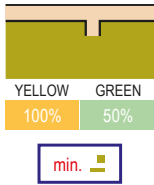
(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)



519 横断地点(任意) Crossing point (optional) (点)

横断地点とは、競技者が容易に通過することができる柵や手すりまたは壁の、隙間または開口部である。競技者が簡単に通過できない小さな隙間や開口部は地図上に表現されてはならず、競技中は閉鎖されなければならない。

色:黒



520 立入禁止区域 Area that shall not be entered (面)

私有地、花壇、鉄道敷地など、立ち入ることができない区域。この区域には、鉄道、大きな建物、または非常に大きな木などの非常に目立つ特徴物を例外として、特徴物を表現してはならない。道路の入口は明確に表現されなければならない。

建物内に完全に包含される立入禁止の区域は、建物の一部として描画されなければならない。

立入禁止区域は常に境界線(幅 0.1 mm 以上)により縁どられなければならない。

最小幅:0.25mm (実寸 1m)

最小面積:0.25mm² (実寸 4m²)

色:黄 100%、緑 50%。

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)

521 建物 Building (面)

建物は、屋根を持つ比較的恒久的な建造物である。記号立入禁止区域(520)内の建物は、単純化して表現されてもよい。建物内に完全に包含される区域は、建物の一部として表記されなければならない。

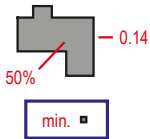
建物と他の通行不能な特徴物との間の最小間隙は、**0.40mm** とする。接する複数の建物の境界は表現されてはならない。

最小幅:0.5mm

最小面積:0.25mm² (実寸 4m²)

色:黒(輪郭)、黒 50%。

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)



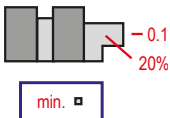
522 天蓋(キャノピー) Canopy (面)

天蓋は、通路、狭い通路、建物周囲の中庭、バス停、ガソリンスタンド、ガレージなどのような、通常支柱やポールまたは壁で支えられている(屋根付きの)建築構造物である。競技者が容易に通過できない建物の小さな通過可能な部分は地図上に表示されてはならず、競技中は閉鎖されなければならない。

最小幅:0.5mm

最小面積:0.25mm² (実寸 4m²)

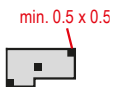
色:黒(輪郭)、黒 20%



522.1 支柱 Pillar (点)

支柱は、建物を支えるために使用される、石やレンガまたはその他の材料でつくられた柱状の軸または構造物であり、高さに比して細く断面の形状は多様である。1m×1m よりも断面の小さい支柱は通常表現されない。

色:黒



524 高い塔 High tower (点)

高い塔または大きな鉄塔。非常に大きな塔は、記号 *建物* (521) により平面形状で表現されなければならない。この記号は北向きに正置される。

実寸: 直径 8.4m

色: 黒

**525 小さな塔 Small tower (点)**

目立つ小さな塔、高い足場または台座。この記号は北向きに正置される。

実寸: 6m×6m

色: 黒

**526 ケルン・記念碑・小さな記念物または境界石 Cairn, memorial, small monument or boundary stone (点)**

はっきりしたケルン、記念碑、小さな記念碑、または境界石。大きな巨大記念碑は、記号 *建物* (521) により平面形状で表現されなければならない。

実寸: 直径 4m

色: 黒

**527 給餌台 Fodder rack (点)**

自立したまたは木に取り付けられた給餌台。この記号は北向きに正置される。

実寸: 6m×6m

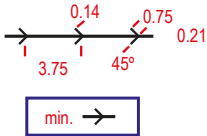
色: 黒

**528 目立つ線状特徴物 Prominent line feature (線)**

目立つ人工の線状特徴物。例えば、低いパイプライン(ガス、水、石油、熱など)やボブスレー/スケルトトラックで、はっきりと視認できるもの。記号の定義は地図上に明示されなければならない。

最小長さ: 2.2mm (実寸 8.8m)。

色: 黒

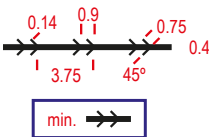
**529 通行不能の目立つ線状特徴物 Prominent uncrossable line feature (線)**

通行不能の人工の線状特徴物。例えば、高パイプライン(ガス、水、石油、熱など)やボブスレー/スケルトトラックなど。記号の定義は地図上に明示されなければならない。

最小長さ: 3mm (実寸 12m)。

色: 黒

(訳注: 本記号は競技規則により通行が禁止されている)





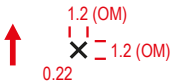
530 目立つ人工特徴物-円 Prominent man-made feature – ring (点)

重要または目立つ人工特徴物。

記号の定義は地図上に明示されなければならない。

実寸:直径 4m

色:黒



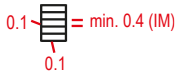
531 目立つ人工特徴物-x Prominent man-made feature – x (点)

位置は記号の重心であり、記号は北を向けて正置される。

記号の定義は地図上に明示されなければならない。

実寸:4.8m×4.8m

色:黒



532 階段 Stairway (線)

階段の段差は、総描して表現されなければならない。

最小長:(記号上の)3 ステップ

最小幅:0.4mm(IM)

色:黒



4.6 技術記号 / Technical symbols



601 磁北線 Magnetic north line (線)

磁北線は地図上で磁北の方向を示す線である

磁北線間隔は 30mm、すなわち地表上で 120m としなければならない。岩、こぶ、がけ、水系の分岐、小径の終わりなどの小さな特徴物の表記と重なる場合、磁北線を切断して表記してもよい。

色:黒もしくは青

4.7 コースプランニング記号 / COURSE PLANNING SYMBOLS

701 スタート Start (点)

スタートもしくは地図配布場所(スタート地点と異なる場合)は正三角形で示し、最初のコントロールの方向を向ける。三角形の中心はスタート地点の正確な位置を示す。

色: パープル (lower purple).

702 地図配布場所 Map issue point (点)

スタート地点まで誘導区間がある場合、地図配布場所をこの記号で示す。

色: パープル (upper purple).

703 コントロール位置 Control point (点)

コントロール位置は円で示す(実寸 24mm)。円の中心は特徴物の正確な位置を示す。重要な細部の表記を妨げないように、円の一部を省略すべきである。

色: パープル(lower purple).

704 コントロール番号 Control number (文字)

コントロール番号は、重要な細かい部分を隠さないようにコントロール円の近傍に配置する。数字は北に向けて正置する。多くの建物で覆われた地図の場合、0.1 か 0.15mm の白い輪郭線をつけることも可能である。

フォント: Arial, 4.0mm, non-bold, non-italic

色: パープル(upper purple オプション: 白の輪郭 0.15mm)

705 結合線 Course line (線)

コントロールを順番通りに回る必要がある場合、スタート、コントロール、フィニッシュを直線で繋いで表記する。重要な細かい部分の表記を妨げないように線の一部を省略して表記すべきである。

色: パープル (lower purple).

706 フィニッシュ Finish (点)

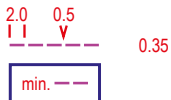
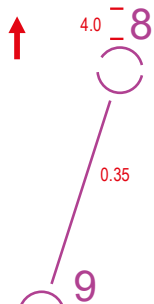
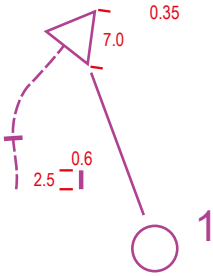
フィニッシュは 2 重の同心円で表記する。

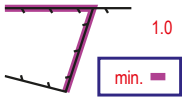
色: パープル (lower purple).

707 誘導区間 Marked route (線)

誘導区間は地図上に破線で示す。

色: パープル (upper purple).





708 立入禁止の境界 Out-of-bounds boundary(線)

立ち入り禁止区域の境界は横断してはならない。この記号はコース設定のため、一時的に横断禁止とする境界に用いる。

色: パープル (lower purple).

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)

709 立入禁止区域 Out-of-bounds area (面)

立入禁止区域。自然な境界線がない場合、以下のように表記する:

実線は、その境界がトレイン上で連続的に表示されている(テープなど)ことを示す。

破線は、トレイン上で断続的に表示されていることを示す。

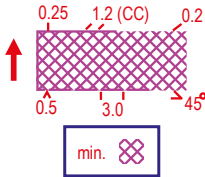
線がない場合、トレイン上で何も表記がないことを示す。

立入禁止区域には入ってはならない。

最小幅: 3 mm.

最小面積: 9 mm² (実寸 144 m²). 色: パープル (upper purple).

(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)

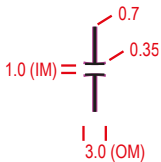


710.1 横断点 Crossing point (点)

壁やフェンスを通過あるいは乗り越えることができる地点、また道路や鉄道を横断できる地点、さらにトンネルや立入禁止区域を通れる地点は外側に湾曲した2本の円弧により表記する。

地下通路もしくはトンネルなどが競技で使用される場合、それらを通過点(710.1)もしくは通過部分(710.2)により強調することができる。

色: パープル (lower purple).

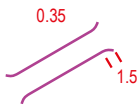


710.2 横断部分 Crossing section (線)

建物もしくは壁やフェンスを通過または越える、道路や線路を横断する、あるいはトンネルや立入禁止区域を通過するような横断部分は、地図上では、その形に沿って線状に表記する。

地下通路もしくはトンネルなどが競技で使用される場合、それらを通過点(710.1)もしくは通過部分(710.2)により強調することができる。

色: パープル (upper purple).



714 特設の建造物もしくは閉鎖区域 Temporary construction or closed area (面)

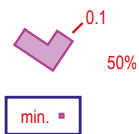
観戦者、アナウンスのための観戦席のような明瞭な特設構造物、観戦者のための閉鎖区域、屋外のレストランなどは実際の構造を表記する。

最小幅: 0.5 mm.

最小面積: 0.25 mm² (実寸 4 m²).

色: パープル (輪郭), パープル 50% (upper purple).

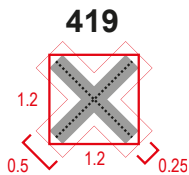
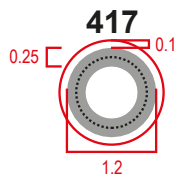
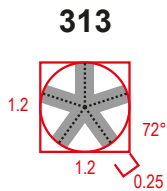
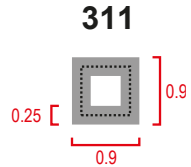
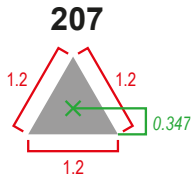
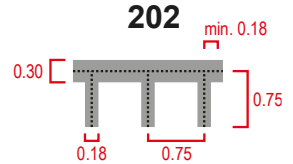
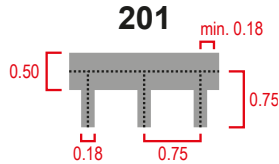
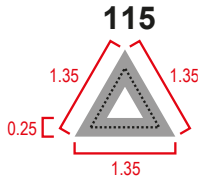
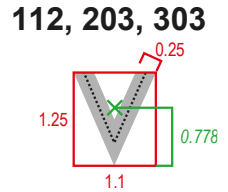
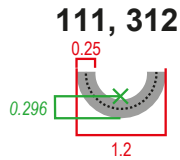
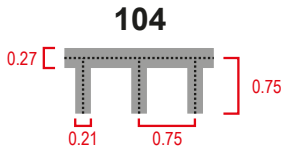
(訳注:本記号は競技規則により通行が禁止されている)



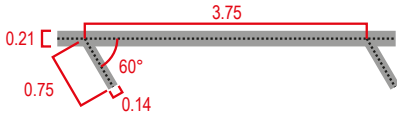
4.8 記号の精密な定義 / PRECISE DEFINITION OF SYMBOLS

備考：寸法の単位は mm.

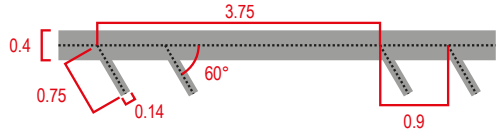
すべての図形は見易さのために 10 倍に拡大している。重心が自明でない記号は重心を(x)で表記した。



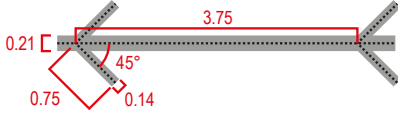
516



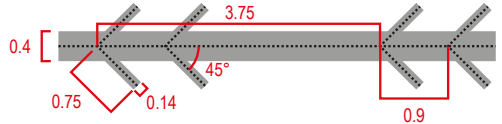
518



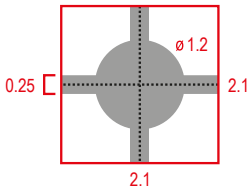
528



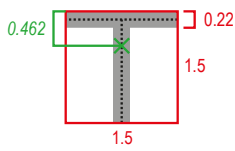
529



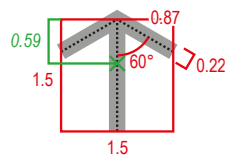
524



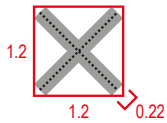
525



527



531



530



526

